

【小施策評価(平成30年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	スポーツ推進課	
施策	13	スポーツの推進	評価 責任者	壽 俊行	内線 6400
小施策	13-2	スポーツ施設の整備充実	評価 シート 作成者	吉田 金一	内線 6401

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
市民がスポーツを継続するためには、スポーツ施設を適正に配置するほか、効果的・効率的運営と施設の充実を図る必要がある。	市民ニーズに対応した新たな施設の整備や老朽化やユニバーサルデザインに対応する改修など、アセットマネジメントの考え方を踏まえながら、適切なスポーツ施設の配置及び整備・改修を行う。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
市民 スポーツ・レクリエーション施設	場(施設)が提供される。 適切に配置され、充実した機能を備えている。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
		単 位	目指す方向	成 果 点	成果の要因分析
指標① 施設利用者		人	↗		
当初値 (H25)	970,673	R1目標値	1,120,000	・大規模改修工事等の影響により、平成29年度からは減少したが、施設利用者は増加傾向にある。 ・利用者が快適に利用できるよう、不具合備品や競技用具の更新のほか、施設の修繕を計画的に行う必要がある。	
		R6目標値	1,270,000		
				問題点	問題の要因分析
					・総合アリーナ整備事業、総合プール整備事業及び南公園球技場整備事業において、既存施設の施設価値や利便性の上昇に繋がる修繕や改修等を行ったことや施設の利用形態の多様化などにより、利用環境が向上し、利用者数の増加につながった。 ・公共施設保有最適化・長寿命化計画に基づき、武道館の大規模改修工事を行ったほか、洪水被害による太田橋野球場の改修工事を行ったことにより、施設を利用できない期間があったため、利用者数が減少した施設があった。 ・アセット計画等に基づき、老朽化したスポーツ施設の改修は進んでいるが、その他の多くの施設で老朽化が進み、必要となる修繕箇所が数多く発生している。

今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ 施設利用者向上につながる自主事業の拡大を指定管理者に要請する。 ★ 公共施設保有最適化・長寿命化計画の着実な推進。 ★ 施設の維持管理に係る費用の確保を検討する。 <p>☆1 今後、新たに整備を行う施設の早期供用開始に努め、施設利用を推進する。</p> <p>☆2 施設の価値向上に寄与する施設の整備や備品の購入等により、県外を含めた利用者の増加に繋げる。</p>	